

1. 科目名（単位数）	障害者福祉論（2単位）	3. 科目番号	SSMP2101 SNMP2301 SCMP2101 SBMP2301 PSMP2401
2. 授業担当教員	是枝 喜代治		
4. 授業形態	講義・ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	障害者を取り巻く福祉制度・政策は、日々、劇的な変化を遂げている。そして、障害者のニーズも複雑・多様化している。実践現場では、これに適切に対処することができるソーシャルワーカーが求められている。本講義においては、激しく移り変わる障害福祉制度や情勢、さらには障害者の実情について学び、ソーシャルワーカーが主体的に問題解決に取り組むことができるように知識を身につけていく。 また、ソーシャルワーカーは多面的な視点を必要とすることから、新聞記事等、資料も用いて障害者問題のみならず老人・貧困等と、さまざまな課題を取り上げ、福祉問題について共に考えていく。 そして、障害者福祉論は、社会福祉士国家試験の『障害者福祉』に位置する科目となる。同国家試験の合格を目指すためには、『障害者福祉』が得点源となるような受験対策が必要となる。そのため、本講義においては、過去の国家試験を分析・検討し、それに沿った内容も講義する。		
8. 学習目標	障害者福祉論が終了した時点で、具体的に以下の点を理解し、説明できるようにする。 1) 障害概念と特性 2) 障害者福祉の理念 3) 障害者福祉の歴史 4) 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題 5) 障害者に対する法制度 6) 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割 7) 障害者と家族等に対する支援の実際		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	レポート課題：障害者福祉サービスに関わる専門職の役割と課題についてまとめなさい。」 上記レポート課題の作成を通して、障害者福祉に関する理解を深め、論理的思考力や概念化能力、自己の見解を口頭や文字で表現する力を培う機会とする。 ※レポートの作成方法・構成等の詳細については授業にて説明する。 ※各章・節の適当な時期に授業の内容に関する確認テストを行う。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 『最新・社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 8 障害者福祉』中央法規 2021 参考図書等については随時提示する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 7つの学習目標を理解することが出来たか。 ○評定の方法 ①中間試験 30% ②期末試験 50% ③平常点（授業への積極的参加度及びレポート）20% 尚、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が確認できない場合には単位の修得は認めない。		
12. 受講生への メッセージ	本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的のため、下記の事を守ることが期待されている。 1.授業中はつねに集中力を保って受講すること。積極的な態度で授業に参加することが期待されている。 2.授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチを切っておくこと。 3.授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教師に書面をもって報告すること。 4.レポートの提出日を厳守すること。		
13. オフィスアワー	授業内で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 障害概念と特性(1) 障害者の定義と特性	事前学習	教科書を準備し、シラバスに目を通してから授業に臨むこと。
		事後学習	障害者の定義と特性について復習する。
第2回	障害概念と特性(2) 国際生活機能分類（ICF）と障害の社会モデル	事前学習	第1章第2節を熟読し、ICFと社会モデルを理解する。
		事後学習	障害概念、ICFモデルについて復習する。
第3回	障害者福祉の理念 障害観の変遷・障害者福祉の理念	事前学習	第2章第1-2節を熟読し、障害者福祉の理念を理解する。
		事後学習	障害者福祉の理念について復習する。
第4回	障害者福祉の歴史 障害者権利条約批准までの変遷	事前学習	第3章第1-4節を熟読し、障害者権利条約批准までの変遷を理解する。
		事後学習	障害者権利条約について復習する。
第5回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題(1) 障害者の生活実態と環境	事前学習	第4章第1節－3節までを熟読し、障害者の生活実態と環境について理解する。
		事後学習	障害者の生活実態と環境について復習する。
第6回	障害者に対する法制度(1) 障害者基本法／障害者差別解消法	事前学習	第3章第4節(p80-83)、第5章第9節を熟読し、障害者基本法と障害者差別解消法に関する法制度を理解する。

		事後学習	障害者基本法と障害者差別解消法の法制度について復習する。
第 7 回	障害者に対する法制度(2) 身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法	事前学習	第 5 章第 1-4 節を熟読し、身体・知的・精神に関する法制度を理解する。
		事後学習	身体・知的・精神の法制度の概要について復習する。
第 8 回	障害者に対する法制度(3) 発達障害者支援法	事前学習	第 5 章第 6 節を熟読し、発達障害者支援法に関する法制度を理解する。
		事後学習	発達障害者支援法の法制度について復習する。
第 9 回	障害者に対する法制度(4) 障害者総合支援法①	事前学習	第 5 章第 7 節 1-2 を熟読し、障害者総合支援法の概要を理解する。
		事後学習	障害者総合支援法の概要について復習する。
第 1 0 回	障害者に対する法制度(4) 障害者総合支援法②	事前学習	第 5 章第 7 節 3.4.5.6.7 を熟読し、障害者総合支援法の福祉サービスについて理解する。
		事後学習	障害者総合支援法の福祉サービスについて復習する。
第 1 1 回	障害者に対する法制度(4) 障害者総合支援法③	事前学習	第 5 章第 7 節 3.4.5.6.7 を熟読し、障害者総合支援法の福祉サービスについて理解する。
		事後学習	障害者総合支援法の福祉サービスについて復習する。
第 1 2 回	障害者に対する法制度(5) 障害者虐待防止法	事前学習	第 5 章第 8 節を熟読し、障害者虐待防止法の概要を理解する。
		事後学習	障害者虐待防止法の概要について復習する。
第 1 3 回	障害者に対する法制度(6) バリアフリー法・障害者雇用促進法	事前学習	第 5 章第 10-11 節を熟読し、バリアフリー法・障害者雇用促進法の概要を理解する。
		事後学習	バリアフリー法・障害者雇用促進法の概要について復習する。
第 1 4 回	障害者と家族等に対する支援の実際 障害領域及び関連領域におけるソーシャルワーカーの役割	事前学習	第 6 章第 1-2 節、第 7 章第 1-2 節を熟読し、障害者と家族等の支援における専門職の役割や多職種連携について理解する。
		事後学習	障害及び関連領域における専門職の役割について復習する。
第 1 5 回	全体の総括とまとめ	事前学習	第 1 回～第 14 回までの授業内容のふり返しを行い、期末試験に備える。
		事後学習	これまでの講義内容をふり返し、障害者福祉について自分の意見をまとめる。
期末試験			